

今日も定刻通り、安全に。
暮らしに欠かせない電車を動かす。

「今」を大切に!!
後悔のないように

伊藤 祐毅 さん (1988年生まれ)

愛知県立木曽川高校 出身

愛知学院大学 文学部卒業

名古屋鉄道株式会社

名古屋市中村区名駅1-2-4

<https://top.meitetsu.co.jp>

なるためには

●必要資格 / 動力車操縦者運転免許
●主な進路 / 高校卒業→大学卒業→鉄道会社に就職→駅員を経験→車掌を2年以上経験→国家試験に合格し、動力車操縦者運転免許を取得→鉄道運転士

——学生時代

「幼い頃の夢は野球選手。高校時代は部活に没頭し、上下関係の厳しさを学べました。今でも野球は好きで、会社の野球サークルに所属しています。勉強では、社会や英語など文系科目が得意でした。将来は教師になることも視野に入れ、社会科の教職課程がとれる大学へ進学しました」

大学時代に学んだことは？

「愛知学院大学文学部の歴史学科で、中世の日本史コースを専攻していました。なかでも室町時代の足利義満の政権について、古文書を現代語訳しながら研究しました。現代の政治にも通じる部分があり、学んでいておもしろかったです」

——仕事について

「卒業後の進路について改めて考えた時、日々の通学で利用していた名古屋鉄道の採用募集を知り興味をもちました。名鉄沿線の街で生まれ育ち、当たり前のようにな身近にあった地元企業に恩返ししたくなったんです。応募の時点から、車掌や運転士をめざす鉄道運輸職を志望しました」

研修について教えてください。

「駅員や車掌の仕事をするには、社内の教習所でそれぞれの講習を受けて試験に合格しなければなりません。運転士になるには、登用試験に合格したうえで学科講習を受け、学科試験とさらに厳しい実技教習を突破する必要があります。」



これまでの人生で、最も必死に勉強しました」

仕事内容を教えてください。

「鉄道運転士として、名鉄犬山駅を起点とした犬山線、小牧線、各務原線などで乗務しています。週ごとに担当行路や出勤時間は異なり、勤務シフトによっては会社の宿泊施設で仮眠をとる日も。各運転士が入り代わり立ち代わり勤務し、始発から終電まで休まない運行を担っています」

心がけていることは？

「電車は常に秒単位のスケジュールで動いています。運行ダイヤを守ることは勿論ですが、さらに大切なのはお客様の安全。何百人もの命を預かっていることを忘れず、常に緊張感をもって勤務しています」

——やりがい

「名古屋駅に到着した瞬間、たくさんのお客様が列車から一斉に降りていくのを見ると、交通手段として多くの人々の役に立てていると実感します。遅延することのないよう、定刻通り、安全に運行することが、誇りであり、やりがいです」

——なるためには

「鉄道運転士になるには、動力車操縦者運転免許が必要ですが、鉄道会社へ入社後に取得できます。決して楽な道ではありませんが、運転士になりたいという強い気持ちがある人はぜひ挑戦してください。安全かつ定刻通りにお客さまを目的地に届けることが運転士の仕事であるため、さまざまな安全確認作業などもしっかり行える、責任感が強く、真面目な人が向いていると思います。学生のうちは、『今』を大切に。部活でも勉強でも、熱中できる何かを見つけ、継続してみてください！」

ありがとうございました。



22歳

↓

27歳

↓

33歳

生まれ育った地元へ貢献したいと、身近だった名古屋鉄道に入社する。

教習所での厳しい学科試験と、乗務の見習い期間を経て、念願の運転士に。

犬山乗務区の運転士として、日々、人々の移動を陰ながら支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



自分の手でひとつの家をつくり上げる。
大工棟梁という仕事。

感謝される
人間になる

一柳 明宏 さん (1983年生まれ)
愛知県立一宮工業高校 出身

株式会社新和建設

北名古屋 市野崎山神 15
<https://www.sinwanet.co.jp>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→建設会社に大工見習いとして就職→親方の下で修業→大工棟梁として独立

——学生時代

「体を動かすことが好きなスポーツ少年で、小学生のときは陸上部、中学、高校生のときはバスケットボール部に所属していました。一方で椅子や棚など、木材で家具などを作ることも好きで、授業だけでなく家でもよく工作をしていました。家庭の事情で高校卒業後はすぐに就職しようと思っていたため、専門知識が身につく就職もしやすいう工業高校に進学。好きな仕事を続けられると思い建築土木科を選びました」

——仕事について

「高校2年生くらいから大工の仕事に興味をもつようになりました。そのとき出会った当時の社長の人柄と『お客様が満足する木造建築づくり』への情熱に感銘を受け、この会社で大工になりたいと決意。入社後は現場見学や道具の使い方の練習、7日間の研修を通して、社会人としての心得やマナーをしっかりと叩き込まれました。その後、親方の下での修業が始まりました」

修業時代に、教わったことは何ですか？

「先輩にはとにかくよく怒られましたね。笑。あいさつについては本当に厳しく注意されました。はじめのころは仕事が雑で、『お金をいただいている立場なのに、そんな仕事でお客様に住んでもらうのか』と棟梁にひどく叱られました。技術だけでなく、仕事に対する姿勢もしっかりと教え込まれたのは、今となっては本当によかったと思います」

仕事内容を教えてください。

「個人差もありますが、新和建設では親方の下でおよそ7年間経験を積みまます。その後、一人でも仕事ができる」と判断されると『大工棟梁』として親方の下から独立して働けるようになります。家づくりでは、土台伏せ(※1)や上棟(※2)から床や壁の板張り、建具や階段の取り付けなど、電気設備、壁紙・タイルなどの仕上げ以外のすべてを担当します。現場に関わる他の業者さんと工事手順を話し合い、お客様ともコミュニケーションを取りながら仕事を進めています」

——やりがい

「建物が完成した後『引き渡し式』をするとき、お客様がうれしそうな顔をしてくださるとやりがいを感じますね。また、まだ親方の下で働いていたころの話ですが、私たちが建てた家が完成した後、お客様が新しい家に招待してくださったことがありました。お子さんと一緒に遊んだりお風呂に入ったり、とても歓迎してもらえて、そのときは大工をやっている良かったと心から思いました」



——なるためには

「必ずしも工業高校出身である必要はないと思います。高校で学んだ建築の専門用語や設計図の書き方が、現在も役に立つことはありますが、専門知識や現場の流れは動きながら覚えるべきことの方が圧倒的に多いです。大工は知識よりも体力勝負。スポーツが好きとか、体を動かすことが好きな人が向いていると思います。また、一人で黙々と作業をすることが多いので、集中力を上げて物事に真剣に取り組める人は、きっと活躍できますよ」

お忙しいところ、ありがとうございます。



自分
の
家

18歳 工業高校で建築の知識を学び、憧れていた大工の道へ。

26歳 親方の下で約7年間の修業を終え、大工棟梁として独立。

37歳 お客様に感謝される家づくりを心がけながら、仕事に勤しむ。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



学生と全力でぶつかり合いながら、
夢へ飛び立つサポートをしています。

寺沢 直樹 さん(1977年生まれ)

愛知県立高蔵寺高校 出身
名城大学 農学部卒業

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ

名古屋市中区栄5-11-11
<https://www.n-visual.net/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校または大学卒業→ダンサー、インストラクターとしての実務経験を積む→専門学校教員

「学生時代はバスケット部や卓球部に所属する一方で、実はアニメオタクでもありました。動物や生き物が好きで、得意科目は生物。当時は保守的な考え方が強く、冒険や挑戦はしないタイプでした」

大学時代のことを教えてください。

「名城大学農学部の農芸化学科(※)で、農薬の作り方や食物科学を学びました。サークル活動に加え、高校での生徒会にあたる学生会の会長も務め、交友が広がっていくのが楽しかったです。在学中にダンスに夢中になり、学祭でチームを組んでストリートダンスを披露。その後もイベントやコンテストに出演するなど、どんどんダンスに没頭していききました」

仕事について

「大学卒業後はダンサーとして活動する傍ら、知人の紹介でダンスインストラクターの仕事も始めました。そのときの教え子の紹介で、アイドルの振り付けやミュージックビデオに携わる機会も。現在の専門学校では非常勤で働き始め、誘いを受けて常勤の教員になりました」

仕事内容を教えてください。

「約50人が在籍するパフォーマンス・ダンス学科ダンサー専攻の主任教員として、ホールルームやキャリア支援を担当。制作実習の授業では、プロバスケ試合のオープニングアクトなど、学生が出演するイベントに向けた演出やサポートをします」

「専門学校は、学生の将来を左右する2年間です。最初は何者でもなかった若者が、才能を開花させて飛び立っていく。そんな人生の転機に立ち会えることによる喜びを感じます。ダンサーを志す人の居場所として、日本一の専門学校にしたいですね」

やりがい

「心にかけていることは?」
「こちらが本音で話さなければ、学生にも心を開いてもらえません。自分の失敗談やしくじった体験などもすべてをさらけ出し、腹を割って誠実に向き合うようにしています」

ダンサーのキャリア支援とは?

「卒業後はプロダンサーや就職など多彩な道がありますが、大切なのは本人の意思。大人の都合や理想を押し付けず進みたい方向へ導くようにしています。もちろん夢がある学生は、イベント出演や学内オーディションなど、業界への売り込みを強力にサポート。在学中にできる限り実績を作り、将来へのお膳立てをしてあげるプロデュサーのような役割です」



21歳



29歳



38歳

テレビ番組を見てあこがれたことから、ヒップホップダンスを始める。

ダンサーの身体づくりへの理解を深めるため、柔道整復師の資格を取得。

専門学校の非常勤講師の仕事スタート。後に専任教員になる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「ダンス関連の教員になるには、ダンサーとしての実績は必須です。今は動画でも学べるかもしれませんが、やはり現場での体験は大切。SNSで発信したりイベントに足を運んだり、自分から積極的にコミュニケーションに関わり、一緒に夢になれる仲間を見つけてみましょう。これからのダンサーには、一般常識やコミュニケーションなど、社会人としてのマナーも求められます。本気でダンスを仕事にしたいなら、専門学校もぜひ検討してみてください!」

ありがとうございました。

ライフスタイルに合わせた提案で、
お客様から信頼される美容師へ。

後悔のないように
今を楽しむ!!

今井 妙実さん (1991年生まれ)

愛知県立一宮北高校 出身
中部美容専門学校 卒業

株式会社TJ天気予報

一宮市千秋町浅野羽根古金島9-1
<https://www.tj-tenkiyohou.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 美容師免許
●主な進路 / 高校卒業→美容専門学校を卒業→美容師免許を取得→ヘアサロンに就職→アシスタントとして経験を積み→タレントデビュー→美容師

——学生時代

「小学5年生のころから、将来の夢は美容師でした。きつかけは、親に髪を切ってもらったところ大失敗されて(笑)、自分で切るようになったこと。もともとオシャレも好きでしたし、どんどんヘアカットにハマっていききました。誕生日プレゼントで散髪用のハサミをもらったり、インターネットでカットの方法を調べたりと、自分なりにこだわっていました」

専門学校では何を学びましたか？

「中部美容専門学校のトータルスタイラー科で、ヘアはもちろん着付やネイル、メイク、エステなどの美容全般を幅広く学びました。毎日宿題があつて大変でしたが、身につけた技術は現在、成人式のお客様に着付やメイクをする際にも役立っています」

——仕事について

「現在のヘアサロンは、お客様として利用してみても、アットホームで落ち着く雰囲気になつて入社を決めました。美容師としてデビューするには、アシスタント業務をしながら、技術の力アップが大切です。最初は慣れない接客業の傍ら、練習するのがつらかった時期も。それでも少しずつシャンプーの指名をいただけたら、『マッサージ上手だね』と褒めていただけるようになりました。社内のヘッドスパ売ランキングで1位になったときは、大きな自

信になりました」

仕事内容を教えてください。

「カット、パーマ、カラーなど、お客様に最適なヘアスタイルを提案します。髪質に合わせて技術を工夫したり、使用する薬剤にもこだわります。お客様のライフスタイルに合わせて、自宅でもスタイリングしやすい提案をめざしています」

心がけていることは？

「カウンセリングで話を聞くだけでなく、お客様をしつかり観察してご要望を引き出すようにしています。髪にまつわる悩みは『輪郭を隠したい』『白髪が気になつてきた』など、人によってはコンプレックスにかかわることも。お客様に信頼していただき、何でも話せる存在になるのが目標です」

やりがい

「お客様に『ありがとう』と言ってもええたり、よろこんでいただけるのが何よりのやりがいです。単にヘアスタイルを整えるだけでなく、『ここに来るとリラックスして疲れがとれる』と感じていただける場所でありたいと思います」



——なるためには

「美容師になるには、国家資格の美容師免許が必要です。まずは美容専門学校への進学をめざしましょう。この仕事は華やかなイメージがあるかもしれませんが、体力と根気も必要です。美容が好きなきことはもちろん、一つのこと集中して取り組める人に向いていると思います。学生のうちは、いろいろな人とかかわってコミュニケーション能力を磨いたり、部活動などに熱中するのも良いと思います。やる気があれば大丈夫！後悔のない時間を過ごしてくださいね」

ありがとうございました。



自分史

11歳
↓
20歳
↓
29歳

自分で髪を切り始めたことをきっかけに、将来は美容師になろうと決意。

現在のヘアサロンに入社。アシスタントとして経験を積み、技術を磨く。

手入れしやすいスタイルをモットーに活躍するトップスタイリスト。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



人も企業も幸せになれる、
転職のベストマッチをめざしています。

常にアップデート!!

都世子 壘 さん (1992年生まれ)

愛知県立瀬戸西高校 出身

愛知大学 経営学部卒業

株式会社R4CAREER

名古屋市中区栄2-9-26 ポーラ名古屋ビル3F

<https://www.r4career.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→人材紹介会社に就職

——学生時代

「子どものころは絵を描くのが好きで、一時は漫画家にあこがれていたことも。高校ではラグビー部に所属し、全国大会をめざして部活一色の日々を過ごしました。チームで一つの目標に向かって力を合わせた経験は、大人になった今でもいきていると感じます」

大学では何を学びましたか？

「愛知大学の経営学部で、経営戦略や情報システム戦略、マーケティングの考え方を学びました。会社経営や事業展開の基礎を学べたおかげで、現在多彩な企業に訪問する際にも、抵抗なく話をする事ができています」

——仕事について

「大学卒業後は海運会社を経て、託児所の運営会社に転職。保育士の面接を担当するなかで、もっと企業の成長につながる採用に深くかかわってみたいと思い、現在の人材紹介会社に就職しました」

仕事内容を教えてください。

「人材紹介コンサルタントとして、企業と求職者の間に立ち、最適なマッチングを提案するのが仕事です。メーカーから医療系、IT関係、飲食店まで、人材を募集しているさまざまな企業に対して、当社がお手伝いさせていただくことの価値をアピール。細かなヒアリングにより、企業自身も気づいていなかった人材ニーズを明確にしていけます。一方で仕事を探している人には、スカウトや面接のアド

バイスなどを行います」 大切にしていることは？

「たとえ採用者が決まっても、すぐに退職してしまつては意味がありません。企業が求める人材と求職者が希望する職場どちらにもギャップがないように、紹介前にはじっくり話を聞くようにしています。求職者の苦労話を聞くという『助けてあげたい』と肩入れしたくなつてしましますが、あくまで中立の立場を心がけています」

あなたにとって転職とは？

「転職というとマイナスイメージを抱く人もいるかもしれませんが、一生同じ会社に勤めるだけが幸せとは限りません。長所をいかし、より自分らしくステップアップしていくために、転職は有効な手段だと思っています」

——やりがい

「お客様に『いい人を紹介してくれただけ、間接的ながら企業の成長に貢献できるとうれしくなります。転職を通して一人の人生、ひいては企業の未来を左右しかねない仕事に、責任とやりがいを感じます」



——なるためには

「人材紹介コンサルタントになるために、必須の資格は特にありません。さまざまな業界の経営陣と話す機会が多いので、何事にも興味をもてる、知的探究心のある人に向いていると思います。学生のうちから、何でも挑戦・行動する癖をつけておくといいですよ。また、知らないことをそのままにせず、気になった言葉やニュースはすぐに調べる姿勢も大切。自分の中の引き出しをできる限り多くもつておく、社会に出てからきつと役に立ちますよ!」

ありがとうございます。



自分史

18歳

↓

27歳

↓

29歳

高校3年間でラグビーに捧げ、チームプレーや目標達成の醍醐味を知る。

転職によって企業の成長に貢献する事に惹かれ、人材紹介会社に就職。

仕事の責任感とやりがいを胸に、人材紹介コンサルタントとして活躍中。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



繊細かつ豪快な職人仕事で、
オーダーメイドの印刷機を製造。



岩瀬 聖也さん(1997年生まれ)
愛知県立春日井工業高校 出身

株式会社オリент総業

春日井市黒鈴町字大久手15
<https://orientsoogyo.co.jp/>

なるためには

- 必要資格/特になし
- 主な進路/高校卒業→印刷機メーカーに就職

——学生時代

「幼いころから子どもが好きで、一時は保育士になりたいと思っていたことも。中学・高校はバスケット部に所属し、部活動に熱中。チームで同じ目標に向かって頑張った経験は、現在もいかされています。工業高校に進学したのは、地元での就職に有利になると考えたから。電気科でプログラミングや電気工事関連の勉強をしました」

——仕事について

「就職活動では、地元を中心に、高校での学びをいかなる会社を検討。現在のグラビア印刷機メーカーは、就職説明会で話した先輩が好印象だったことに加え、安定感や待遇にも惹かれました。入社後3ヶ月は研修として、製造部の加工課・電気課・機械組立課を経験。体を動かす機械組立の仕事が自分に最も合っていると考え、希望通りの配属となりました」

仕事内容を教えてください。

「ベットボットのラベルやお菓子のフィルムなど、幅広い食品包装パッケージのプリントに使われています。製品のサイズは、大きいものだと高さ7m、長さ30m以上にも。大小およそ2万点の部品を使い、設計図面に従って組み立てていきます。新規製品だけでなく、過去に納品した印刷機のメンテナンスや改造も担当。全国各地から海外まで納品先での作業も多く、年の半分ほどは出張です」



納品までの流れを教えてください。

「すべてオーダーメイドのため、製品ごとに仕様はさまざまです。社内ですべて仕様がばっちり。納品先で試運転した後、一度解体して再び組み立て、動作確認を重ねて納品へ。1つの製品を納品するまでに1ヶ月半〜2ヶ月ほどかかります」

仕事の醍醐味を教えてください。

「食品を包装するフィルムは非常に薄く、機械がわずかでも傾くと印刷にズレやシワが入ってしまいます。使用するフィルムやインクの特性、工場内の温度、湿度などに合わせた細かな調整が不可欠に。一方で、自分の体よりも大きなパーツを扱ったり高所作業があったりと豪快な一面も。頭と体を同時に使うのが、難しさであり面白さです」

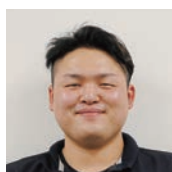
——やりがい

「トライ＆エラーを繰り返し、製品が稼働した時の達成感はとても大きなものです。誰もが知っている有名な商品の印刷機にかかわる機会も多く、感慨深い気持ちになります」

——なるためには

「この仕事は車・バイクいじりやプラモデルなど機械の仕組みを知るのが好きな人に合っていると思います。必須の資格はありませんが、高校や専門学校で工業関係の勉強をしておくとういでしょう。自分の仕事にプライドをもてる、職人気質の人に向いているかもしれませんね。学生のうちは、運動部に所属しておく、精神面も肉体面も鍛えられていいと思います。やる気さえあれば、何だって不可能ではありません！自分の道を貫いてみてください」

ありがとうございました。



自分史

- 18歳 日本で2社しかないグラビア印刷機メーカーに就職し、機械組立課に配属。
- 20歳 現場責任者を任されるようになり、仕事の面白さにのめり込んでいく。
- 23歳 機械組立の職人として活躍中。出張では日本全国から世界を飛び回る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



WebやDM、キャッチコピーなどを
駆使し、商品が売れる仕組みを提案。

お誘いを受けたり
ドンドン来っかろう!!

中島 正博さん(1984年生まれ)

愛知県立一宮高校 出身

名古屋大学 文学部卒業

スノーフレイク・コンサルティング

<https://www.snowflake-consulting.net>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→広告会社やコンサルティング会社、企業の販売促進部などで経験を積み→独立

— 学生時代

「子どものころから勉強が得意で、いわゆる優等生でした。中学からは音楽に夢中になり、将来は音楽関係の道に進みたいと考えていました。めざす進路が変わったのは、高校1年の倫理の授業で哲学に出会ったことがきっかけです。『どうしたら幸せになれるのか』などのさまざまな問いに対し、先人たちが説いた教えに強く興味を惹かれました。特にニーチェから影響を受け、卒業後は哲学を学べる大学に進もうと決意しました」

大学では何を学びましたか？

「名古屋大学文学部の哲学専攻に進学し、デカルトの『情念論』やニーチェの『人間的、あまりに人間的』などを学習。本や言葉の意味とじっくり向き合う力が身につきました。物事を表面的に理解するのではなく、成り立ちや理由などから本質的に捉える哲学的な思考は、現在の仕事でもいかされています」

— 仕事について

「大学卒業後は大手百貨店に入社し、販売促進部や外商部、売り場など、営業・販売にかかわる多彩な部署を経験しました。その傍らでもっと事業経営に直接かかわる仕事をしてみたいくなり、コンサルティングやマーケティングを勉強。会社の仕事とは別に企業のお手伝いを始め、昨年独立して、本格的にマーケティング兼コンサルタントとして開業しました」

仕事内容を教えてください。

「商品やサービスが売れるための仕組みをつくるのが、マーケティングの仕事です。要望に合わせて商品のWebサイトを制作したり、DMのキャッチコピーを考えたり、ヒアリングを通してお客様の抱える課題を整理し、オーダーメイドでプロモーション戦略を考えていきます」

営業活動について教えてください。

「形のないものを売る仕事のため、前のめりになって提案を急ぎません。マーケティング関連のオンラインイベントを積極的に開催するほか、SNSではビジネスに限らず、社会の動向やトレンドに対する意見を発信。『この人に相談してみようかな』と思っていただける存在になるまで、時間をかけて関係をつくれます」

— やりがい

「世の中に、悩んでいない経営者の方なんてほとんどいません。何もかも手探りの状況から一緒に新しいプロモーションを試し、課題解決の突破口を見つけたときにやりがいを感じます」



— なるためには

「Webマーケティングに限らず、営業・販売の経験があると役に立ちます。たとえば好きなお菓子がなぜ売れているのかを企業側の視点で考えたりと、身近でマーケティング活動を見つけてみるのはいいいと思います。向いてるのは、ノリがよく流行に敏感で、何でも興味をもてる人。情報があふれている今の時代、自ら検索したり、足を踏み入れないと見つけられないこともたくさんあります。誘いを受けたら何でも乗ってみると、どんどん興味も視野も広がりますよ!」

ありがとうございます。



自分史

16歳 倫理の授業でニーチェの哲学論に感銘を受け、哲学を学べる大学を志す。

23歳 百貨店に入社。多彩な営業・販売を経験し、社会人の基礎を身につける。

35歳 独立開業し、マーケティング兼Webコンサルタントとして本格的に活動する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



地元企業の素晴らしさを発信する、
就活イベントを運営しています。

何よりも
感謝が大切!!

丹羽 良哉さん(1993年生まれ)

愛知県立尾北高校 出身
中部大学 経営情報学部卒業

春日井商工会議所

春日井市鳥居松町5-45
<https://www.kcci.or.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- ※ 商工会議所によっては日商簿記3級に合格している必要がある
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→商工会議所へ就職

——学生時代

「高校時代の一番の思い出は、入学当初にテニス部の体験入部へ行き、3年間の付き合いとなる友達と出会えたことです。同じ中学から尾北高校に進んだ同級生がいなかったため『やっていたいけるだろう』『と大きな不安を抱えていたところ、友達ができ、心からほっとしたことを今でもよく覚えています』

大学時代について教えてください。

「経営学、会計学、経済学を複合的に学ぶことができた、中部大学経営情報学部へ進みました。大学の講義で学んだことの中には、『簿記』など、今でも直接役立つことが多くあります。また、洋服屋さんでの接客販売のアルバイトが、社交性を養うことに大いに役立ちました。はじめは教えていただいた通りの接客をするだけで精一杯でしたが、徐々に自分なりの接客スタイルがわかってきて、自然な会話やご提案もできるようになりました」

——仕事について

「商工会議所へ就職したいと考えたきっかけは、大学3年次に参加したインターンシップです。イベントや活動に合わせて日々さまざまな仕事をしている様子がとても魅力的で、『自分もみなさんのように働きたい』と思いました。就職活動は商工会議所に絞って進め、春日井商工会議所に内定が決められました」

報酬型インターンシップ期間の仕事について教えてください。

「正式に入所する前の学生時代に



2ヶ月間、報酬型インターンシップの制度を活用して就業しました。パソコン入力などの業務が多かったのですが、組織の全体像を学ぶなかで、単調に感じられる業務一つひとつも、誰かの役に立っている、または、誰かがやらなくてはならない必要な仕事なのだと思えました」

現在の仕事内容は?

「地元会員企業の求人をサポートする労務対策担当として、『就職フェア in 春日井 & 小牧』の企画・準備・運営をしています。具体的には、参加企業の募集から会場の手配、来場する学生に向けてのPRなどです。昨年度はコロナ禍のニーズに合わせて、会場の感染対策やオンライン面談なども実施しました。ほかにも、中部大学との連携による報酬型インターンシップにより、会員企業と学生をつなぐ事業も私の仕事です」

——やりがい

「就活イベントやインターンシップの仕事を通して、地域に貢献できていることにやりがいを感じます。知名度のある大手企業以外にも、身近にいい会社はたくさんあるんです」

地元企業の魅力をより多くの学生に知っていただき、将来の視野を広げるきっかけにしてもらえればと思います」

——なるためには

「簿記は必ず役に立つ知識ですから、学んでおくことをお勧めします。また、社会に出てからは、誰とも会話ができる社交性や、何事にも感謝の気持ちで取り組める前向きさがとても大切になります。そうした力をつけるためにも、学生のみならずは幅広い人と関わり価値観や視野を広げてください」

お忙しいところ、ありがとうございます。



21歳



22歳



27歳

自分史

インターンシップの経験を通して商工会議所で働きたいようになる。

春日井商工会議所に入所。小さな仕事一つひとつにも大切な意味があることを肝に銘じながら取り組む。

就活イベントやインターンシップの担当として、地元企業に貢献。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

